

動物管理学科

ドッグセラピーコース

授業科目	福祉と動物関係学 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 ドッグセラピーコース	1 年次（通年）	必修	講義	4 単位
担当教員	尾崎夏美				
実務経験歴	動物介在福祉士上級資格をもとに、動物介在活動を長年実施				
授業目的	動物介在福祉士初級の対策講座を中心に、人と動物の関係やセラピー動物の飼育管理、動物業界について実践的に学ぶ。				
達成目標	動物介在福祉士初級の内容を理解し、資格を取得する。				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	アニマルセラピー/一般社団法人全日本動物専門教育協会				
参考書	やさしいエキゾ学/著者：清水宏子/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験（100％）				
授業内容とスケジュール					
1回	動物介在福祉士とは	16回	前期授業内容振り返り・小テスト		
2回	動物介在福祉士の視点/求められる人物像①	17回	アニマルセラピーの効果		
3回	動物介在福祉士の視点/求められる人物像②	18回	AAAとは①		
4回	AAAの流れ・動物の管理方法	19回	AAAとは②		
5回	小動物の生態について①	20回	AAAとは③		
6回	小動物の生態について②	21回	AAEとは		
7回	小動物の生態について③	22回	AATとは		
8回	小動物の生態について④	23回	ホースセラピー/ドルフィンセラピー		
9回	小動物の生態について⑤	24回	ファシリティドッグ		
10回	小動物の生態について⑥	25回	動物介在福祉士実技試験対策①		
11回	小動物の生態について⑦	26回	動物介在福祉士実技試験対策②		
12回	活動に参加できる動物の適正	27回	動物介在福祉士学科試験対策①		
13回	アニマルセラピーの歴史	28回	動物介在福祉士学科試験対策②		
14回	家畜化について	29回	動物介在福祉士試験（実技＋学科）		
15回	期末試験・総評・まとめ	30回	期末試験・総評・まとめ		
備 考					

授業科目	福祉と動物関係学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 ドッグセラピーコース	2年次（前後期）	必修	講義	4 単位
担当教員	民井 泉希				
実務経験歴	愛玩動物看護師				
授業目的	動物介在福祉士中級の対策講座を中心に、動物の感染症や病気について実践を交えて学ぶ。				
達成目標	内容を理解するとともに、動物の健康管理ができるようになる。				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	動物介在福祉士テキスト/一般財団法人全日本動物専門教育協会				
参考書	めざせ早期発見：わかる犬の病気/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験（100％）				
授業内容とスケジュール					
1回	セラピー犬の適正①	16回	動物の感染症について①		
2回	セラピー犬の適正②	17回	動物の感染症について②		
3回	セラピー犬の適正③	18回	動物の感染症について③		
4回	セラピー犬の適正④	19回	動物の感染症について④		
5回	セラピー犬の適正⑤	20回	動物の感染症について⑤		
6回	活動前の健康チェック	21回	動物の感染症について⑥		
7回	面会マナーについて	22回	動物の感染症について⑦		
8回	アニマルセラピー活動について①	23回	人獣共通感染症について①		
9回	アニマルセラピー活動について②	24回	人獣共通感染症について②		
10回	活動計画書の作成①	25回	人獣共通感染症について③		
11回	活動計画書の作成②	26回	人獣共通感染症について④		
12回	動物介在福祉士初級対策講座①	27回	人獣共通感染症について⑤		
13回	動物介在福祉士初級対策講座②	28回	人獣共通感染症について⑥		
14回	動物介在福祉士初級対策講座③	29回	まとめ、試験対策		
15回	期末試験・総評・まとめ	30回	期末試験・総評・まとめ		
備 考					

授業科目	ドッグセラピー理論				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 ドッグセラピーコース	1 年次（通年）	必修	講義	4 単位
担当教員	民井 泉希				
実務経験歴	愛玩動物看護師				
授業目的	動物介在福祉士初級の資格取得に向け、「動物の健康管理」及び「人畜共通感染症」の知識技術を身に着ける。				
達成目標	体の構造を理解し、健康管理（バイタルチェック等）及び適切な処置を行えるようになる。				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	アニマルセラピー/一般社団法人全日本動物専門教育協会 めざせ早期発見！わかる犬の病気/著書：小沼守/エデュワードプレス				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（100%）				
授業内容とスケジュール					
1回	全身チェック		16回	前期振り返り	
2回	感染症①		17回	病気の知識 腹部、臀部①	
3回	感染症②		18回	病気の知識 腹部、臀部②	
4回	人獣共通感染症①		19回	病気の知識 腰部、膝、足先①	
5回	人獣共通感染症②		20回	病気の知識 腰部、膝、足先②	
6回	人獣共通感染症③		21回	飼い主への病気説明①	
7回	病気の知識 皮膚①		22回	飼い主への病気説明②	
8回	病気の知識 皮膚②		23回	飼い主への病気説明③	
9回	病気の知識 耳①		24回	飼い主への病気説明④	
10回	病気の知識 耳②		25回	トラブルへの対応①	
11回	病気の知識 眼①		26回	トラブルへの対応②	
12回	病気の知識 眼②		27回	トラブルへの対応③	
13回	病気の知識 鼻と口①		28回	トラブルへの対応④	
14回	病気の知識 鼻と口②		29回	まとめ、振り返り	
15回	期末試験・総評・まとめ		30回	期末試験・総評・まとめ	
備 考					

授業科目	動物介在/人間関係学 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 ドッグセラピーコース	1 年次（通年）	必修	講義	4 単位
担当教員	民井 泉希				
実務経験歴	愛玩動物看護師				
授業目的	動物介在福祉士初級の対策講座を中心に、人と動物の関係やセラピー動物の飼育管理、動物業界について実践的に学ぶ。				
達成目標	動物介在福祉士初級の内容を理解するとともに、アニマルセラピー活動の計画立案ができるようになる。				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書	やさしいエキゾ学/著者：清水宏子/インターズー				
成績評価(割合)	期末試験（100%）				
授業内容とスケジュール					
1回	伴侶動物とは	16回	犬、猫の食事①		
2回	アニマルセラピー	17回	犬、猫の食事②		
3回	健康管理	18回	エキゾチックアニマルの食事①		
4回	B C S について	19回	エキゾチックアニマルの食事②		
5回	体調管理	20回	餌の選び方①		
6回	ワクチンと予防	21回	餌の選び方②		
7回	公衆衛生と感染症①	22回	妊娠から出産まで（犬、猫）		
8回	公衆衛生と感染症②	23回	妊娠から出産まで（エキゾチックアニマル）		
9回	人獣共通感染症	24回	手入れの仕方（耳、爪）		
10回	犬の感覚	25回	手入れの仕方（口腔内）		
11回	猫の感覚	26回	手入れの仕方（シャンプー）		
12回	犬、猫の動物と睡眠	27回	猫の手入れの仕方		
13回	仔犬、仔猫の運動と睡眠	28回	仔犬、仔猫の手入れの仕方		
14回	まとめ、期末試験対策	29回	まとめ、期末試験対策		
15回	期末試験・総評・まとめ	30回	期末試験・総評・まとめ		
備 考					

授業科目	動物介在/人間関係学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科ドッグセラピーコース	2年次（前期）	必修	講義	2単位
担当教員	民井 泉希				
実務経験歴	愛玩動物看護師				
授業目的	動物介在福祉士中級講座を中心に、動物業界について学ぶ				
達成目標	動物介在福祉士中級の内容を理解する				
授業時間外に必要な学修					
テキスト					
参考書	めざせ早期発見！わかる犬の病気/著：小沼守/インターズー				
成績評価（割合）	期末試験（80％）学習態度（20％）				
授業内容とスケジュール					
1回	活動前に確認したい全身のチェック				
2回	人にも感染するおそれのある病気・症状				
3回	部位別での病気・症状の知識（耳）				
4回	部位別での病気・症状の知識（目）				
5回	部位別での病気・症状の知識（鼻）				
6回	部位別での病気・症状の知識（口）				
7回	部位別での病気・症状の知識（お尻・お腹周り）				
8回	部位別での病気・症状の知識（足先・膝・腰周りの病気）				
9回	トリマー、ペットショップスタッフの基礎知識（シャンプー①）				
10回	トリマー、ペットショップスタッフの基礎知識（シャンプー②）				
11回	トリマー、ペットショップスタッフの基礎知識（消毒方法①）				
12回	トリマー、ペットショップスタッフの基礎知識（消毒方法②）				
13回	トリマー、ペットショップスタッフの基礎知識（ワクチン）				
14回	試験対策				
15回	期末試験・総評・まとめ				
備 考					

授業科目	ドッグセラピー技術学Ⅰ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 ドッグセラピーコース	1 年次（前期）	必修	講義・実習	12
担当教員	竹下恵里佳・大津晴男・竹口真理・西森将浩・尾崎夏美				
実務経験歴	【竹下】平成18年4月～平成30年4月 浪花警察犬訓練所に勤務、平成30年5月～ひのか警察犬訓練所にて独立 【大津】トラ・ヒョウ・クロサイ・アフリカ産小型哺乳動物・両生類・爬虫類などの飼育、血統管理などに42年従事 【竹口】動物病院にて、愛玩動物看護師として従事 【西森】福祉業務に従事 【尾崎】動物介在福祉士上級資格をもとに、動物介在活動を長年実施				
授業目的	動物介在福祉士初級の対策講座を中心に、動物のしつけ・美容管理・飼育方法や管理方法を学ぶ				
達成目標	各種動物の行動特性を理解し、コントロール（しつけ）技術・ブラッシング/シャンプー技術・飼育/展示技術を身に着ける				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	アニマルセラピー／一般社団法人全日本動物専門教育協会				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（100％）				
授業内容とスケジュール					
1～15	イヌの基本知識①・小型犬・大型犬に慣れる①				
16～30	イヌの基本知識②・小型犬・大型犬に慣れる②/犬のブラッシング①				
31～45	イヌの基本知識③・小型犬・大型犬に慣れる③				
46～60	イヌの基本知識④・犬と遊ぶ①/犬のブラッシング②				
61～80	イヌの行動学・学習理論①・犬と遊ぶ②				
81～90	イヌの行動学・学習理論②・リードをつけて犬を触る①/グルーミング道具の扱い方				
91～100	イヌの行動学・学習理論③・リードをつけて犬を触る②				
101～110	イヌの言葉・ボディーランゲージ①・アイコンタクト・招呼の練習/シャンプー実習①				
111～120	イヌの言葉・ボディーランゲージ②・停座・伏臥・立止の練習				
121～130	イヌの言葉・ボディーランゲージ③・休止の練習/シャンプー実習②				
101～110	イヌの言葉・ボディーランゲージ④・脚側停座・脚側行進の練習				
131～140	犬のストレスについて・基本コマンドを使いながらコントロールする①/シャンプー実習③				
141～169	JKCグループ分け・基本コマンドを使いながらコントロールする②				
170～179	期末試験対策・基本コマンドを使いながらコントロールする③/シャンプー実習④				
180	期末試験・総評・まとめ				
備考					

授業科目	ドッグセラピー技術学Ⅱ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 ドッグセラピーコース	1 年次（後期）	必修	講義・実習	12
担当教員	竹下 恵里佳、竹口真理、大津晴男、尾崎夏美、真田千奈美				
実務経験歴	竹下：平成18年4月～平成30年4月 浪花警察犬訓練所に勤務 平成30年5月～ひのか警察犬訓練所にて独立 竹口：動物病院に勤務し動物医療に従事 大津：トラ、ヒョウ、クロサイ、アフリカ産小動哺乳動物、両生類、爬虫類などの飼育、血統管理、収集、輸送などに42年従事 尾崎：高齢者施設や幼稚園にて、アニマルセラピー活動を実践 真田：JMAA日本メディカルアロマセラピー協会認定スペシャリストとして講師歴10年以上の経験				
	動物介在福祉士初級の対策講座を中心に、技術学Ⅰの学びをもとに実際に犬をさわりながらトレーニングを学ぶ				
	動物介在福祉士初級の内容を理解し、担当犬の性格を把握しながら優良家庭犬試験対策のトレーニング計画を組み立て実行できる				
	動物介在福祉士/一般財団法人全日本動物専門協会				
	トレーニング・ザ・ケイナイン・グッド・シチズン/テリー・ライアン著 山崎恵子訳				
成績評価(割合)	期末試験（100%）				
授業内容とスケジュール					
1～15	仔犬の社会化期・リードをつけてコントロールする①/シャンプー実習①				
16～30	犬を飼う前に考えること・リードをつけてコントロールする②/動物介在活動実習①				
31～45	仔犬の選び方・担当犬の性格・レベルを把握する①/シャンプー実習②				
46～60	犬種団体・血統書/担当犬の性格・レベルを把握する②/動物介在活動実習②				
61～80	ハウストレーニングを実際に行う/シャンプー実習③				
81～90	トイレトレーニング・担当犬のトイレスタイルを確認する/動物介在活動実習③				
91～100	犬体名称・実際に様々な犬の犬体名称をさわる/シャンプー実習④				
101～110	骨格名称・実際に様々な犬の骨格名称をさわる/動物介在活動実習④				
111～120	様々な犬具・実際に犬具を使用する/シャンプー実習⑤				
121～130	優良家庭犬試験について①・優良家庭犬試験内容の練習①/動物介在活動実習⑤				
101～110	優良家庭犬試験について②・優良家庭犬試験内容の練習②/シャンプー実習⑥				
131～140	優良家庭犬試験について③・優良家庭犬試験内容の練習③/動物介在活動実習⑥				
141～169	優良家庭犬試験について④・優良家庭犬試験内容の練習④/シャンプー実習⑦				
170～179	期末試験対策・優良家庭犬試験内容の練習⑤/動物介在活動実習⑦				
180	期末試験・総評・まとめ				
備 考					

授業科目	ドッグセラピー技術学Ⅲ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 ドッグセラピーコース	2 年次（前期）	必修	講義・実習	10
担当教員	竹下恵里佳・真田千奈美・西森将浩・尾崎夏美				
実務経験歴	【竹下】平成1 8 年4 月～平成3 0 年4 月 浪花警察犬訓練所に勤務 平成3 0 年5 月～ひのか警察犬訓練所にて独立 【真田】JMAA日本メディカルアロマセラピー協会認定スペシャリストとして、 講師歴10年以上の経験 【西森】福祉業務に従事 【尾崎】動物介在福祉士上級資格をもとに、動物介在活動を長年実施				
授業目的	動物介在福祉士中級の対策講座を中心に、技術学Ⅰ・Ⅱの学びをもとに 実際に犬をさわりながらトレーニングを学ぶ				
達成目標	動物介在福祉士中級の内容を理解し、担当犬の性格を把握しながら優良家庭犬試験対策の トレーニング計画を組み立て実行できる				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	アニマルセラピー／一般社団法人全日本動物専門教育協会				
参考書	トレーニング・ザ・ケイナイン・グッド・シチズン/テリー・ライアン著 山崎恵子訳				
成績評価(割合)	期末試験（100％）				
授業内容とスケジュール					
1～10	日本犬と洋犬の違い・実際に違いを感じながらさわる/動物介在活動の計画・立案・実施				
11～20	犬種について①・様々な犬種をさわる/動物介在活動の計画・立案・実施				
21～30	犬種について②・担当犬のトレーニング～目標立て～/動物介在活動の計画・立案・実施				
31～40	繁殖について・担当犬のトレーニング～実行①～/動物介在活動の計画・立案・実施				
41～50	優性・劣性について・担当犬のトレーニング～実行②～/動物介在活動の計画・立案・実施				
51～60	色素・色調について・担当犬のトレーニング～実行③～				
61～70	トレーニング計画について①・担当犬のトレーニング～確認・修正～ /動物介在活動の計画・立案・実施				
71～80	トレーニング計画について②・担当犬のトレーニング～実行④～ /動物介在活動の計画・立案・実施				
81～90	トレーニング計画について③・担当犬のトレーニング～実行⑤～ /動物介在活動の計画・立案・実施				
91～100	使役犬について・担当犬のトレーニング～実行⑥～/動物介在活動の計画・立案・実施				
101～110	トレーニング用語について・担当犬のトレーニング～実行⑦～ /動物介在活動の計画・立案・実施				
111～119	警察犬について・担当犬のトレーニング～実行⑧～/動物介在活動の計画・立案・実施				
120～129	ノーズワークについて・担当犬のトレーニング～実行⑨～/動物介在活動の計画・立案・実施				
130～149	期末試験対策/担当犬のトレーニング～実行⑩～/動物介在活動の計画・立案・実施				
150	期末試験・振り返り				
備考					

授業科目	ドッグセラピー技術学Ⅳ				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物管理学科 ドッグセラピーコース	2 年次（後期）	必修	講義・実習	11
担当教員	竹下恵里佳・西森将浩・尾崎夏美				
実務経験歴	【竹下】平成18年4月～平成30年4月 浪花警察犬訓練所に勤務 平成30年5月～ひのか警察犬訓練所にて独立 【西森】福祉業務に従事 【尾崎】動物介在福祉士上級資格をもとに、動物介在活動を長年実施				
授業目的	動物介在福祉士中級の対策講座を中心に、 技術学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの学びをもとに資格取得を目指す				
達成目標	動物介在福祉士中級の内容を理解し、 福祉対象者毎に活動計画書を立案・実施できるようになる				
授業時間外に必要な学修					
テキスト	アニマルセラピー／一般社団法人全日本動物専門教育協会				
参考書					
成績評価(割合)	期末試験（100％）				
授業内容とスケジュール					
1～10	犬の歴史・担当犬のトレーニング～目標確認～/動物介在活動の計画・立案・実施				
11～20	犬の学習の仕方・担当犬のトレーニング～実行①～/動物介在活動の計画・立案・実施				
21～30	犬の問題行動について①・担当犬のトレーニング～実行②～/動物介在活動の計画・立案・実施				
31～40	犬の問題行動について②・担当犬のトレーニング～実行③～/動物介在活動の計画・立案・実施				
41～50	犬の攻撃行動の動機・担当犬のトレーニング～確認・修正～/動物介在活動の計画・立案・実施				
51～60	犬の問題行動の予防・担当犬のトレーニング～実行④～/動物介在活動の計画・立案・実施				
61～70	賞罰の大切さ・担当犬のトレーニング～実行⑤～/中級資格試験対策①				
71～80	犬の病気・担当犬のトレーニング～実行⑥～/中級資格試験対策②				
81～90	優良家庭犬試験①・担当犬のトレーニング～確認・修正～/中級資格試験対策③				
91～100	優良家庭犬試験②・担当犬のトレーニング～実行⑦～/中級資格試験対策④				
101～110	優良家庭犬試験③・担当犬のトレーニング～実行⑧～/中級資格試験対策⑤				
111～119	優良家庭犬試験④・担当犬のトレーニング～実行⑨～/中級資格試験対策⑥				
120～139	優良家庭犬試験⑤・担当犬のトレーニング～確認・修正～/中級資格試験対策⑦				
140～164	期末試験対策・担当犬のトレーニング～実行⑩～/中級資格試験対策⑧				
165	期末試験・資格試験・振り返り				
備 考					